

部が直接統括する分野別委員会合同分科会の設置について

分科会名：第三部「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会

1	担当部及び関係委員会名	第三部
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>科学技術の開発と社会への導入の速度が極めて速く、社会の受容が技術開発に追従できない場合が生じている。社会へのインパクトを考慮した技術開発と、社会へ導入後のフォローアップが今後一層強く求められる。また、社会へのインパクトをあらかじめ考えておかないと、短絡的な規制が行われる事態を招きかねず、グローバル標準から外れた規制となった場合には適正な経済発展に影響を及ぼす可能性も生じる。このような情勢に鑑み、第三部直轄の「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会を設置し、日常生活に関わるマルチステークホルダーの視点から、理学および工学分野における科学技術の「光」および「影」とは何か、「影」の克服事例、科学技術の社会に与える影響、規制が科学技術や社会と経済の発展に及ぼす影響などを対比させ、その適切なあり方を提示する。</p> <p>第一部の直轄する合同分科会「科学と社会の在り方を再構築する分科会」にて、科学者の信頼回復と巨大リスクに対する政治的決定などを議論している。社会学委員会「情報と社会変容分科会」では、情報技術の展開による社会システムおよび社会関係資本の変容などを論じている。これに対し、本分科会は日常生活との関わりに注目し、シンポジウムなどによって得られる市民からの意見もあわせて議論する。情報学委員会「安全・安心社会と情報技術分科会」、総合工学委員会・機械工学委員会合同「工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会」からも参加を得て連携し、次世代の明るい未来を拓く科学技術の発展をめざす。</p>
4	審議事項	<p>1. 理学および工学分野における解明対象科学技術項目の抽出、「光」、「影」、社会インパクトや導入フォローアップ検討</p> <p>2. 理学・工学分野における科学・夢ロードマップ振り返り</p>

		3. 地区協議会などと連携し、共催の公開シンポジウム開催による市民からのフィードバックに係る審議に関すること
5	設 置 期 間	平成29年12月22日～平成32年9月30日
6	備 考	※事実上23期からの継続